

石垣山一夜城 小田原市早川 1383-12

豊臣秀吉は、天正 13 年 (1585) に関白に任官し、その年に四国攻め、翌々年の 15 年 (1587) には九州攻めで西国をほぼ平定し残るは関東・東北となった。そこで同年暮れ、「以後、大名同士の領土の取り合いなどがあれば関東として征伐する」という私戦禁令『関東・奥両国惣無事令 (かんとく・おくりょうごくそうぶじれい)』を発令。

その翌年 16 年 (1588) 4 月に後陽成天皇を京都の邸宅兼城郭の「聚楽第 (じゅらくだい)」に招き、全国の諸大名に参列を命じ忠誠を誓わせた。このとき北条氏政・氏直父子は列席せず恭順の意を示さない北条にその矛先が向くことになる。そのような中、翌 17 年 (1589) 10 月に上野国 (群馬県) の沼田城代を務めていた猪俣邦憲 (いのまた くにのり) が隣接する名胡桃城 (なぐるみじょう) を奪取。これを惣無事令違反として秀吉は 11 月 24 日に宣戦布告。天正 18 年 (1590) に早雲寺を本陣として攻囲を開始、北条側も小田原城やその支城の修築をはじめ城と城下町を包括した総構 (惣構) [そうがまえ] を完成させ迎え討つものの秀吉勢の内通工作や石垣山の一夜城築城をはじめとした揺さぶりにより北条勢は士気が大幅に低下。天正 18 年 (1590) 4 月 3 日から始まった戦いは同年 7 月 5 日に氏直が開城降伏しここに戦国大名後北条氏は滅亡した。(パンフ、説明版)



伊達政宗



宇喜多秀家



徳川家康



羽柴秀次



千利休



淀殿



豊臣秀吉

説明版は早川から同城への急登坂にある



石垣



本丸

二の丸

早雲寺 足柄下郡箱根町湯本 405

早雲寺は臨済宗大徳寺派の古刹です。大永元年（1521）北条早雲の息子氏綱により創建されました。小田原北条家の菩提所として栄えましたが天正 18 年（1590）秀吉の小田原攻めの際に一時同寺を秀吉は本陣としたが石垣城に登り同寺は焼き払われた。



早雲寺



本殿



北條 5 代の墓



秀忠侍医曲直津家墓